

投擲(トウテキ) 擲は投げ打つ。円盤投げ、
砲丸投げなどを投擲競技と言う。

蕩蕩(トウトウ) 広くて大きい様子。

穏やかな様子。のどかな様子。

滔滔(トウトウ) 水が盛んに流れる様。
よどみなく話すこと。

陶冶(トウヤ) 陶器を作り鑄物をいることだ
が、才能や性質などをねってりっぱに
作り上げることを言う。

棟梁(トウリョウ) 棟はむね。梁ははり。家を
ささえる重要な部分であるところから、
家をささえ、国をささえる重任にある
人を言う。【例】 一国の棟梁

頭領(トウリョウ) 多くの者の上に立つ人。か

しら。

読経(ドキョウ) 声を出してお経を読むこと。

【参照】看経

読誦(ドクジュ) 声を出してお経を読むこ
と。

独壇場(ドクダンジョウ) その人だけが活躍
する場所。ひとり舞台。独壇場を誤っ
て壇にし、このことばができた。壇は
手中に独占する意。ほしいままにす
る。

匿名(トクメイ) 匿はかくす。自分の名前を
かくして知らせないこと。【例】 匿名の
投書

屠殺(トサツ) 屠は家畜を殺すこと。肉や皮
を取るために獣類を殺すこと。

屠蘇(トソ) 屠蘇散をひたした味醂。独特の
香気があり、不老長寿の効があるとし
て正月の祝い酒にする。

土壇場(ドタンバ) 首切りの刑場のこと。転
じて物事の決定しようとする最後の瞬
間・場所。

咄嗟(トッサ) 咄は口から出すチェツという
舌打ちの声。嗟はああと嘆く声。ごく
短い時間のことを言うのに用いる。

【例】 咄嗟に身をかかわす

訥弁(トツベン) 訥はことばが内にこもって
外に出ないこと。どもる。つかえつか
えしゃべる話し方を言う。話しべた。
【反対】 能弁